

「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2024」を開催 —2月16日～18日まで—

東京工芸大学（学長：吉野弘章、所在地：東京都中野区 以下、本学）は、「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2024（以下、本制作展）」を、2月16日から18日の3日間、本学中野キャンパスで開催します。本制作展は芸術学部・芸術学研究科における、メディア芸術の集大成であり若きアーティストのデビューの場でもあります。未来のメディアアーティストたちが全力で取り組んだ作品の数々をご覧ください。

展示作品は、本学芸術学部7学科及び大学院芸術学研究科の2024年3月卒業・修了予定者の卒業・修了作品です。展示スペースとして1号館、2号館、3号館、5号館、および6号館が使用されます。学生たちが各々の個性的な発想を元に創り上げた、魂を込めた作品群が展示されます。また、昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により完全招待制でしたが、今年度は平常時に戻り一般公開となります。

本学は1923年に日本で初めての写真専門の高等教育機関「小西寫真専門学校」として創立しました。当初からテクノロジーとアートを融合した教育・研究を推進し続け、2023年に創立100周年を迎えました。2024年は芸術学部創立30周年の節目の年でもあります。設立以来メディア芸術の最新情報を発信し続ける芸術学部は、「メディア芸術の拠点」としてさらなる進化を遂げています。

「テクノロジーとアート、掛け合わせて、未来を変える」。東京工芸大学は、テクノロジーとアートを融合し、これからも新たな価値の創造を目指していきます。

■東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2024

【URL】<https://www.t-kougei.ac.jp/campuslife/schedule/graduation-works/>

■東京工芸大学芸術学部

1994年に芸術学部設置（所在地：東京都中野区）。

写真学科、映像学科、デザイン学科、インタラクティブメディア学科、アニメーション学科、マンガ学科、ゲーム学科の7学科を有する。2019年4月に芸術学部全学年の就学地が中野キャンパスに集約され、「メディア芸術のすべてを都心の1キャンパスで学べる唯一無二の大学」となった。

設立以来、社会で活躍するための総合的な力を備え、クリエイティブ産業や文化を牽引するメディア芸術分野のプロフェッショナルを育成している。

【URL】<https://www.t-kougei.ac.jp/gakubu/arts/>



芸術学部卒業・大学院修了制作展 2024 メインビジュアル
芸術学部デザイン学科 4年 三枝 志帆「うえいくあつぷみらくる!」

本リリースに関するお問い合わせ

学校法人東京工芸大学 総務・企画課 広報担当 TEL:03-5371-2741 MAIL:university.pr@office.t-kougei.ac.jp